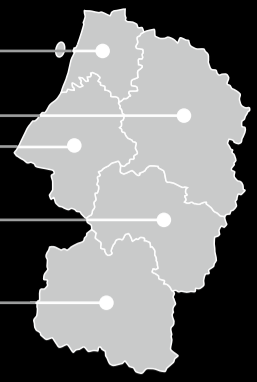


霞城



隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
●重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



No.715

「第6師団創隊60周年・ 神町駐屯地創立66周年記念行事」に 参加



地域とともに
60周年
躍動の未来へ

「第66回 山形県縦断駅伝競走大会」に協力



力走をサポート

Contents

2ページ

- 地域とともに60周年 躍動の未来へ
「第6師団創隊60周年・神町駐屯地創立66周年記念行事」に参加
- 操縦に必要な事項を修得
「第1次災害用ドローン操縦手養成訓練」を実施
- 「GWも県内各地でイベント協力」

3ページ

- 「第66回山形県縦断駅伝競走大会」に協力
- それぞれの中隊が基盤活用
「令和4年度連隊集中野営」を実施

4ページ

- 日々奮闘「自衛官候補生課程」
- 「第3回新庁舎移転実行委員会」を実施
- 隊員紹介コーナー
- 各種表彰
- 定年退官者紹介
- 6月行事予定

2022

May 15

「第6師団創隊60周年・神町駐屯地創立66周年記念行事」に参加

4月17日(日)、神町駐屯地において「第6師団創隊60周年・神町駐屯地創立66周年記念行事」が行われ、連隊は記念式典における観閲式及び車両による観閲行進に参加するとともに、戦闘訓練展示を実施した。

記念式典に先立ち、師団長及び駐屯地司令感謝状贈呈式が行われ、日頃から連隊に御理解・御協力を頂いている協力団体の方々には感謝状が贈呈された。

観閲式には、連隊長(荒木一佐)以下78名が参列、観閲行進では連隊長が乗車する指揮通信車を筆頭に19両をもって、

威風堂々とした行進を披露し威容を示した。戦闘訓練展示では、第1中隊長(後藤三佐)の指揮により、第22即応機動連隊、東北方面特科連隊、第6高射特科大隊、第6通信大隊、第6偵察隊、第6飛行隊、第6特殊武器防護隊の支援を受け、空地一体となった火力・機動力の総合戦闘力を発揮した迫力ある戦闘訓練を展開し、観客を魅了した。

また、それぞれ中隊はこの日を「家族の日」とし、隊員たちは来場したご家族とともに、装備品展示や満開の桜等を楽しんでいただほか、一緒に隊舎を訪れ、職場環境を見学するなど、自衛隊への理解の促進を図ることができ、とても充実した一日となった。



観閲式に参列

家族の日 写真紹介コーナー



本部管理中隊 高橋 3曹 ご家族



第2中隊 山科 2曹 ご家族



第3中隊 庄司 3曹 ご家族
山崎 3曹 ご家族

感謝状受賞者紹介

- 師団長感謝状受賞者
- 株式会社山形銀行代表取締役頭取 長谷川 吉茂 様
 - 黒澤建設工業株式会社代表取締役社長 黒澤 友晴 様
- 駐屯地司令感謝状受賞者
- 株式会社山形新聞代表取締役社長 寒河江 浩二 様
 - 山形放送株式会社代表取締役社長 板垣 正義 様



情報小隊の偵察活動



空地一体となった総合戦闘力を発揮



威風堂々、20連隊の威容を示した

「第1次災害用ドローン操縦手養成訓練」を実施



操縦に必要な事項を修得

真剣に操縦要領を演練

4月1日(金)から8日(金)までの間、神町駐屯地において「第1次災害用ドローン操縦手養成訓練」(教官…第2科 加藤2曹)を実施し、各中隊及び情報小隊から約20名が参加した。

1日(金)、連隊教場において、災害用ドローンの操縦に必要な事項(災害用ドローンの概要、航空法等の関係法令、ドローンの取り扱い等)について教育が行われ、参加者はドローン操縦に必要な知識やドローン運用の重要性について学んだ。

5日(火)から8日(金)には、東訓練場において、操縦訓練が実施され、離着陸や前後・左右移動等の基礎的操縦技術を演練したほか、対面飛行や目視外飛行等の各種状況に対応するために必要な操縦技術を習得した。操縦訓練に参加した隊員はコントローラの操作加減やカメラ映像の見え方等について体感し、今後の訓練の資とした。

連隊は今後も練成訓練を企画しており、災害派遣時における現場までの進出経路及び徒歩で接近が困難な地点、被害状況等、情報収集に最大限活用できるように、多数の操縦手の育成、操縦手の練度向上を図っていく。

「GWも県内各地でイベント協力」

5月1日(日)、いろいろ火の里駐車場(三川町)で行われた「三川町ゴールデンウィークイベント」及び5日(木・祝)、ほととなる広場(山形市)で行われた「令和4年度がんばる車大集合」において、自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展に協力(三川町ゴールデンウィークイベント…重迫撃砲中隊3名、令和4年度がんばる車大集合…第3中隊3名)し、装備品展示(高機動車・オートバイ)を実施した。

また、3日(火・祝)若木山公園特設ステージにおいて、神町まつり実行委員会が主催する「神町まつり」に協力した。イベントには第1中隊から2名が参加し、装備品展示(軽装甲機動車)を実施した。

イベント開催日はいずれも、多くの家族連れが来場し、自衛隊の装備品を見学するとともに、体験的な搭乗や隊員との記念撮影を楽しむなど、会場は賑わいを見せた。

連隊はこれらの協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。



5月3日 神町まつり



5月5日 令和4年度はたらく車大集合



5月11日 三川町ゴールデンウィークイベント

「第66回山形県縦断駅伝競走大会」に協力



安全な運転で役員を輸送

連隊は、4月27日(水)から29日(金・祝)までの3日間、県内全域で行われた「第66回山形県縦断駅伝競走大会」に協力隊長 本部管理中隊 齋藤2尉以下26名、車両14両をもって協力した。

本大会は山形新聞、山形放送、山形県陸上競技協会などが主催し、県内11地区のチームが3日間にわたって北の遊佐町からスタートし各市町村を経由して、南の米沢市までを縦断し、山形市でゴールする山形県の春の風物詩と言える大会(全29区間、総距離305.6km)で、連隊は昭和50年代から大会に協力している。

協力隊は26日(火)、神町駐屯地において大会役員と対面式を行った後、開会式が行われる酒田市に移動した。同日、協力隊長が開会式に参加するとともに、協力隊員は翌日から協力の準備を万全に行い、大会本番に備えた。協力隊は大会期間を通じて役員の輸送、通信連絡等に従事し大会運営に協力した。

また、連隊からは選手として1名が参加し、県内を駆け抜け、北村山チームの活躍に貢献した。



第3中隊 斎藤3曹が選手として参加(写真:左から4番目)



認識を統一し万全を期した



通信要領を確認

「令和4年度 連隊集中野営」を実施

それぞれの中隊が 基盤活用

4月19日(火)から22日(金)までの間、王城寺原演習場(宮城県、神町駐屯地西訓練場及び神町駐屯地周辺において「令和4年度連隊集中野営」を実施した。本訓練は、各中隊が与えられた基盤を活用し、中隊練成訓練、小隊訓練・検閲及びヘリボン訓練を実施した。

王城寺原演習場において、中距離多目的誘導弾小隊は、小隊連接訓練、遭遇戦訓練及び夜間機動訓練を、情報小隊は、地図判読、ドローン操縦訓練(昼間・夜間)、オートバイ操縦訓練及び潜入・監視訓練を、衛生小隊は、中隊救護員の運用検証を行った。また、第1中隊は交戦戦闘装置バトラーを使用した分隊・小隊の遭遇戦を、第2中隊は迫撃砲小隊の訓練検閲及び小銃小隊によるヘリボン訓練(目標に対する攻撃)を、第3中隊は、第2小隊及び第3小隊の訓練検閲(徒歩行進に引き続く、第一線陣地に対する攻撃に任ずる小隊の行動)を実施した。

訓練間、隊員たちはそれぞれ与えられた任務を全うするとともに、目的意識をもって真摯に取り組み、着実に練度を積み上げることができた。連隊は引き続き、令和5年度に予定されている連隊訓練検閲に向け、日々訓練に励んでいく。

中隊は神町駐屯地周辺において約25kmの徒歩行進訓練を、神町駐屯地西訓練場において第1小隊訓練検閲(徒歩行進に引き続く、攻撃における重迫撃砲小隊の行動)を実施した。

訓練間、隊員たちはそれぞれ与えられた任務を全うするとともに、目的意識をもって真摯に取り組み、着実に練度を積み上げることができた。連隊は引き続き、令和5年度に予定されている連隊訓練検閲に向け、日々訓練に励んでいく。



第1中隊 分隊・小隊対抗遭遇戦



第2中隊 ヘリボン訓練



重迫撃砲中隊 第1小隊が訓練検閲



第4中隊 第2小隊が訓練検閲



第3中隊 第2・3小隊が訓練検閲

「自衛官候補生課程」

日々奮闘!!



執統時における基本教練



新隊員教育隊(教育隊長・副隊長 向田2佐)が担任する「自衛官候補生課程」では、自衛官として必要な資質を養うとともに、各職種共通の基礎的な知識・技能を修得するため、候補生たちが日々訓練に励んでいる。

4月7日(木)、駐屯地グラウンドにおいて「執統時における基本教練」を、12日(火)には「射撃予習」を実施が行われ、候補生たちは区隊長の指揮のもと、確実な動作で射撃を実施するとともに、大きな声で射撃号令を復唱し、元氣漲刺とした姿で積極的な訓練に励んでいた。

また5月6日(金)、王城寺原演習場(宮城県)において89式小銃実弾射撃「初級検定」が行われ、候補生たちは区隊長の指揮のもと、確実な動作で射撃を実施するとともに、大きな声で射撃号令を復唱し、元氣漲刺とした姿で積極的な訓練に励んでいた。



射撃訓練



「第3回新庁舎移転実行委員会」を実施

連隊は、庁舎新設に伴う移転における実行委員会を発足し、令和4年1月及び2月の計2回にわたり、移転に係る進捗状況の認識を共有するとともに、移転要領等について検討を重ねてきた。

4月8日(金)、連隊教場において「第3回新庁舎移転実行委員会」を実施し、委員長(委員長・副連隊長 向田2佐)をはじめ、最先任上級曹長、各幕僚及び各中隊長等が参加した。

委員会では、各中隊の移転開始・完了時期、移転経路(動線)等を統制し、具体的な移転要領を説明し、新庁舎での運用開始に万全を期した。

また、各中隊の隊員が3月7日(月)、4月5日(火)・6日(水)に新庁舎を見学し、各部屋の運用、物品等の配置予定場所を検討・確認した。連隊は6月に予定されている庁舎移転に向けて着々と準備を進めている。



綿密な調整を行う

6月行事予定

9日(木)～15日(水)

・連隊集中訓練(大高根演習場)

12日(日)・PCO広報展協力(三川イオンはたらく車展)

26日(日)・自衛官候補生課程修了式

永年の勤務、お疲れ様でした!

定年退官者紹介



・第2中隊
・栗野 忠信 准尉
・5月14日付
・河北町在住

隊員紹介コーナー

「目指すはオリンピック!!」

「冬季特別体育課程学生候補者集合訓練(アイスリンク)」に参加(5月9日(月)～31日(金))



・第3中隊
・小島 清雅(おじま きよまさ) 十長
・23歳
・宮城県大崎市出身
・宮城県古川工業高校→東洋大学

これまでの実績
・第92回全日本選手権大会リレー競技優勝
・天皇杯第99回全日本スキー選手権大会リレー種目 第4位
・全日本学生スキー大会個人フリー競技 第4位

本人コメント
今秋に行われる外遠征派遣選考会を突破して、海外でのレースでワールドカップの出場権利を獲得することが今シーズンの目標です。

そして体育学校の学生となり、将来的にはオリンピック出場を目指し頑張っていくと思います。

各種表彰

【服務優秀中隊】
(無事故日数500日達成)
・重迫撃砲中隊

(對抗部隊小銃手としての功績)
・第1中隊 士長 新山 智也
(迫撃砲小隊弾薬手としての功績)
・同 1士 佐藤 怜耶
(副砲手としての功績)
・重迫撃砲中隊 士長 石澤 智

【令和3年度射撃競技会優秀中隊及び優秀隊員】

(優秀中隊)
・第1中隊
(優秀隊員)
○拳銃の部 第1位
・第2中隊 3曹 黒井 翔太
○小銃の部 第1位
・本部管理中隊 陸曹長 高橋 剛
○機関銃の部 第1位
・第4中隊 3曹 村山 弦士
○狙撃銃の部 第1位
・本部管理中隊 3曹 川口 和也

【令和4年度物品愛護強化期間】

(標語の部)
○最優秀賞
・重迫撃砲中隊 1士 高橋 咲羽
「愛護心 手入れでわかる 精強化」
○優秀賞
・第1中隊 3曹 早坂 淳平
「物品も あなた次第で 無限大」
・重迫撃砲中隊 士長 石澤 智
「物品も 守りぬきこそ 自衛官」
(ポスターの部)
○最優秀賞
・第3中隊 士長 松田 亨成

【連隊長褒章メダル】

(連隊長ドライバーとしての功績)
・第1中隊 3曹 宗片 憲司
(師団創隊記念行事戦闘訓練展示における功績)
○戦況現示班長としての功績
・本部管理中隊 曹長 横田 直樹
○訓練展示ナレーターとしての功績
・同 3曹 中川 玲菜
○小銃小隊長としての功績
・第1中隊 曹長 藤盛 智広

【神町駐屯地業務隊長より褒賞状】
(駐屯地業務隊長司令職務室広報班広報報曹として臨時勤務の功績)
・第2中隊 1曹 丸藤 正浩

【武器学校第2教育部長より褒賞状】
(第112期初級陸曹部隊弾薬課程において成績優秀)
・第3中隊 3曹 渡辺 基史

【師団創隊記念行事戦闘訓練展示において顕著な功績】

(オート操縦手としての功績)
・本部管理中隊 3曹 原田 友輝
(LAU弾薬手としての功績)
・同 士長 大場銀次郎
(小銃分隊長としての功績)
・第1中隊 2曹 太田 次仁
(狙撃隊員としての功績)
・同 2曹 奥山 与行
(Rリベリング要員としての功績)
・同 3曹 簾内 輝

【4月警衛勤務優秀らっぱ手】

・第1中隊 3曹 新田 稜
(3日上番)
・第3中隊 士長 阿部 優弥
(5日上番)
・本部管理中隊 3曹 加藤 広大
(18日上番)
・第1中隊 3曹 藤田 淳
(25日上番)